

氏名	高 木 茂
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 1 0 号
学位授与の日付	昭和45年 3 月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	農薬有機弗素剤中毒に関する研究
論文審査委員	教授 小坂 淳夫 教授 大 藤 真 教授 山崎 英正

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

農薬中毒は極めて重大な社会問題であるが、最近主として柑橘類の害虫駆除に使用されるようになった有機支素剤にも中毒の発生がみられ、その防護、治療のために最も必要な病態生理解明のためにこの研究を行った。

その結果Petersらにより明らかにされているKrebs 回路の中断による中毒発現機構のほかに著者は動物による種差はあるが中毒時著明な低血糖が惹起され、同時に血中乳酸の著しい上昇を認めることから、解糖は少しでもエネルギーを生成すべく嫌気性代謝が盛んとなるため低血糖を来したものと推測している。

EEGに関しても重症例になるにつれ低電位の不規則な除波、更には平坦波が観察され、またECGについて家兎ではST低下、巨大なTを認め、臨床例では除脉、PQの延長、U波の出現を特徴とし、EEG、ECGに於ても糖代謝障害が関係しているものと考えられた。

次に肝機能、血清電解質に於て家兎実験では著変を認めることが出来なかった。

(昭和44年12月 岡山医学会雑誌 第81巻 11, 12号に掲載)

論文審査の結果の要旨

本研究は、農薬有機支素剤による中毒のさい出現する低血糖症状、中枢神経症状、不整脈、末梢血管麻痺などの循環器系症状の発生病理を明らかにしたもので、従来なお研究されていなかった分野に新知見を加えた価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。